

「高齢者介護施設から救命救急センターへ搬送された患者の検討」に対するご協力をお願い

— 2011年8月1日～2015年12月31日の間に当センターへ救急搬送された方へ —

研究責任者 獨協医科大学病院 救急医学講座 教授 小野 一之
研究分担者 獨協医科大学病院 救急医学講座 助教 内田 雅俊

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、研究責任者または分担者までご連絡をお願いします。

1. 研究の目的 及び 意義

現在、日本は急速に高齢化が進行しており、救急搬送される患者さんも多くが高齢者です。特に介護施設を利用している患者さんはもともと多くの病気を抱えており、自力で生活することも難しくなっています。こういった方が病気になると重症化することが多く、本人にとって負担の大きい治療が必要になることも多くあります。また何とかよくなっても、なかなか退院することができず、本人、家族にとっても大きな負担となります。このような患者さんはどんな治療を受けたのか、どの程度入院したのかなどについて明らかにすることで同じ様な患者さんが本人、家族にとって望ましい治療を受ける助けになると考え、本研究を計画しました。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2011年8月1日～2015年12月31日の間に獨協医科大学病院救命救急センターへ、介護施設から救急車搬送された方を研究対象とします。

2) 研究実施期間

平成28年7月倫理委員会承認後 ～ 平成32年3月31日

3) 研究方法

上記1)の研究対象者について、研究者が診療情報に基づいて患者さんの特徴を調べます。

4) 使用する試料・情報

患者さんのカルテから情報を得て研究を行わせていただきます。

5) 試料・情報の保存

本研究に使用した情報は、研究終了後5年間保存いたします。なお、保存した試料情報を用いて新たな研究を行う際は、救命救急センターのホームページおよびセンター入口にポスターを掲示してお知らせします。

6) 研究計画書の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧することができますので、お申し出ください。

7)研究成果の取扱い

この研究の成果は、あなたのデータを個人情報かわからない形にした上で、学会や論文で発表する予定ですのでご了解ください。

8)問い合わせ・連絡先

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので下記にお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

獨協医科大学病院 救急医学講座

氏名：内田 雅俊

電話：0282-86-1111（平日：9時00分～17時00分）